

財務均衡モデルの研究、中小企業の事業承継に関する研究、ケースメソッド教育



● 研究内容

- ・ノーベル経済学賞を受賞したM.H.Miller教授やE.Fama教授らによって展開された財務理論の均衡モデルを研究している。
- ・日本の中小企業の事業承継に関わる諸問題やM&Aにおける企業評価のあり方を研究している。
- ・経営事例を用いたケースメソッド教育の研究やケースの開発を行っている。外食産業やアパレル企業の経営事例を研究している。
- ・戦略MG®というマネジメントゲームを用いて、財務会計、原価計算、企業財務に関する教育への応用を研究している。

● 想定パートナー

金融機関、金融業、製造業、流通業、外食産業、自治体

● 応用分野

企業評価、財務分析、M&A、リバース・モーゲージ、PFI(民間資金等活用事業)、コンプライアンス、事業継続マネジメント(BCM)

● 取組実績

【企業、行政等との連携実績】

- ・「パーソナル・ファイナンスのフレームワーク-ライフ・サイクル・モデルに基づく考察 - 』平成9年度郵便貯金に関する委託研究』九州郵政局貯金部、1998年8月
- ・「消費者のためのリバース・モーゲージ制度 』ながさき経済』株式会社長崎経済研究所、No.163、2003年5月
- ・「外食産業の企業事例 - 長崎ちゃんぽんのリンガーハット - 』公立鳥取環境大学公開講座2017、鳥取会場 2018年3月3日、米子会場2018年3月10日